

授業科目名	ピアノ演奏	担当教員名	池内 恵美 / 他
科目区分	教職・保育に関する科目	施行規則に定める科目区分 等	大学が独自に設定する科目-保育の内容・方法に関する科目
必修・選択/単位数	必修 / 4単位 (90時間)	授業方法/担当形態	演習 / 複数
開講学年/学期	2年 通年 (1-4期) / 年間開講数 2講座	特記事項	※実務経験のある教員等による授業 ピアノ、声楽指導者として音楽教室を主宰している経験を活かし、音楽の基礎的知識、技能の習得のための指導を行っている。<池内>
授業の概要及び全体目標	保育の現場に必要なピアノ演奏のための技術を段階的に習得する。 段階的に習得したピアノ演奏技術を駆使して弾き歌いのレパートリーを増やし、弾き力と歌唱力を高める。		
到達目標	<p>(1)音楽の基礎的な知識・技能を学ぶことを通し、子どもの音楽表現活動を支えるためのピアノ演奏技術を習得する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 高音部記号と低音部記号の読譜の方法を理解し読譜力の基礎を習得する。 2) 基本的な運指の方法を理解している。 3) 単純拍子の取り方を理解して演奏することができる。 4) 調性について特徴を捉え、表現することができる。 5) 基本的な音楽記号や音楽用語を理解している。 6) 指の独立と強化 7) 大譜表の読譜方法を理解し、読譜力の強化につなげることができる。 8) 発展的な運指の方法を理解し、演奏することができる。 9) 複合拍子の取り方を理解して演奏することができる。 10) 調性について特徴を捉え、表現することができる。 11) 音価について理解して演奏することができる。 12) 速度、強弱、曲想を表す音楽記号について理解し、表現することができる。 13) ベタルの扱いについて理解し、効果的に演奏することができる。 14) 複雑な音価について理解し、演奏することができる。 15) 基本的な音楽用語に加え、表現の幅をひろげるために添えられる付加語や接尾語について理解し、イメージを豊かにして演奏することができる。 16) 楽譜から読み取れる情報を駆使して、曲の雰囲気合った表現をすることができる。 <p>(2)保育の現場で歌われる弾き歌いに関する基礎技能を習得する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 歌詞の内容を理解して歌うことが重要であることを理解している。 2) 歌詞の意味を理解してイメージを豊かにすることができる。 3) 弾き歌いを通してリズム遊びとしての動きのリズム（マーチ、ワルツ、スキップ、ラン）を理解している。 4) いろいろな伴奏パターンによる弾き歌いができるようになる。 		
テキスト	「改訂歌唱教材伴奏法 バイエルとツェルニーによる」（教育芸術社）、「ブルクミュラー 25の練習曲」（全音楽譜出版社）、「ソナチネアルバム1巻」（全音楽譜出版社）、「教材歌曲集」（大阪教育福祉専門学校）		
参考書・参考資料等	使用しない		
成績評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・課題曲の取り組みによる基礎点（大阪教育福祉専門学校ピアノグレードの到達レベルにより得点を配分） 40% ・実技試験 弾き歌い課題 30% ・実技試験 教則本課題 30% 		
授業外（事前・事後）学習の方法、オフィスアワー等	事前指導については授業で指示する。事後学習については授業内容を振り返りワークシートにまとめる。 オフィスアワー：授業前、授業終了後に質問を受け付ける。		
授業計画	授業の内容	到達目標番号	
第1回	オリエンテーション及び1年次課題の復習 ・授業内容と進め方、グレード制度を理解し、設定された到達目標を確認する。 ・春休みの課題曲チェック	(1-5),(1-7),(1-11),(2-2),(2-3)	
第2回	表現力を養う発展的なピアノ演奏技術習得のための演習（1） ・表現力を養うために各曲につけられた題名からイメージして課題曲に取り組む。 ・ハ長調4/4拍子、運指は跳躍や指くくりなどの要素が含まれる課題を理解する。	(1-7),(1-12),(2-2)	
第3回	表現力を養う発展的なピアノ演奏技術習得のための演習（2） ・表現力を養うために各曲につけられた題名からイメージして課題曲に取り組む。 ・ハ短調2/4拍子、16分音符で構成されたモチーフで左右の指の細かな運動性を習得する。	(1-7),(1-8),(2-3)	
第4回	リズム遊びとしての動きを理解するための演習（1） ・リズム遊びの動きとして「ワルツ」（3拍子）のリズムを理解し、課題曲に取り組む。 ・3拍子リズムの特徴を学び、演奏する技術を習得する。	(1-7),(1-8),(1-12),(1-8),(2-3)	
第5回	表現力を養う発展的なピアノ演奏技術習得のための演習（3） ・表現力を養うために各曲につけられた題名からイメージして課題曲に取り組む。 ・ト長調6/8拍子、装飾音符の弾き方を習得する。	(1-7),(1-8),(1-10),(2-2)	
第6回	表現力を養う発展的なピアノ演奏技術習得のための演習（4） ・表現力を養うために各曲につけられた題名からイメージして課題曲に取り組む。 ・ハ長調3/4拍子、16分音符の粒をそろえる弾き方を習得する。	(1-8),(1-11),(1-12)(2-2)	
第7回	いろいろな伴奏パターンによる弾き歌い課題曲の演習 ・右手は旋律を弾き、左手は和音型、分散型、単音型による伴奏パターンを学び、弾きながら歌うための演奏技術を習得する。 ・簡単な旋律に伴奏が付けられるように、和音の響きを感じながら課題曲に取り組む。	(1-8),(1-10),(2-2)(2-4)	
第8回	表現力を養う発展的なピアノ演奏技術習得のための演習（5） ・表現力を養うために各曲につけられた題名からイメージして課題曲に取り組む。 ・ハ長調4/4拍子、左右同時に動く16分音符の粒をそろえ、拍子感を意識した弾き方を習得する。	(1-10),(1-11),(1-12),(2-2)(2-4)	
第9回	表現力を養う発展的なピアノ演奏技術習得のための演習（6） ・表現力を養うために各曲につけられた題名からイメージして課題曲に取り組む。 ・二長調4/4拍子、対旋律を意識した対話的な弾き方を習得する。	(1-10),(1-12),(2-2)(2-3)	
第10回	リズム遊びとしての動きを理解するための演習（2） ・リズム遊びの動きとして「スキップ」（付点リズムの連続）のリズムを理解し、課題曲に取り組む。 ・旋律に付点リズムが用いられた楽曲を通して動きの特徴を学び、演奏する技術を習得する。	(1-10),(1-11),(1-15),(2-2)(2-3)	

授業計画	授業の内容	到達目標番号
第11回	表現力を養う発展的なピアノ演奏技術習得のための演習（7） ・表現力を養うために各曲につけられた題名からイメージして課題曲に取り組む。 ・ハ短調3/8拍子、物語が展開されていくように構成された楽曲の弾き方を習得する。	(1-7),(1-10),(1-12),(2-2)(2-3)
第12回	表現力を養う発展的なピアノ演奏技術習得のための演習（8） ・表現力を養うために各曲につけられた題名からイメージして課題曲に取り組む。 ・ト短調4/4拍子、左手から右手へ旋律の受け渡しのある楽曲の弾き方を習得する。	(1-7),(1-11),(1-15),(2-2)(2-3)
第13回	表現力を養う発展的なピアノ演奏技術習得のための演習（9） ・表現力を養うために各曲につけられた題名からイメージして課題曲に取り組む。 ・ヘ長調3/4拍子、連続する跳躍と同音連打の楽曲の弾き方を習得する。	(1-7),(1-8),(1-15),(2-2)
第14回	表現力を養う発展的なピアノ演奏技術習得のための演習（10） ・表現力を養うために各曲につけられた題名からイメージして課題曲に取り組む。 ・ホ短調2/4拍子、曲想を指示する記号を理解し、題名にふさわしい曲想づくりを習得する。	(1-7),(1-8),(1-12),(1-15),(2-2),(2-3)
第15回	ふり返りとまとめ ・前期に学習した成果を演奏発表する。 ・前期に学習したピアノ演奏技術の習熟度をふり返る。	(1-7),(1-8),(1-12),(1-15),(2-2),(2-3)
第16回	オリエンテーション及び前期の復習 ・授業内容と進め方、グレード制度を理解し、設定された到達目標を確認する。 ・夏休みの課題曲チェック	(1-7),(1-8),(1-12),(1-15),(2-2),(2-3)
第17回	総合的なピアノ演奏技術習得のための演習（1） ソナチネ形式について学び、課題曲に取り組む。	(1-7),(1-8),(1-11),(2-2)
第18回	総合的なピアノ演奏技術習得のための演習（2） 速さや発想を示す用語に加え、さらに表現の幅をひろげるために添えられる付加語や接尾語について理解し、演奏する技術を習得する。	(1-5),(1-7),(1-12),(1-15),(2-2)
第19回	いろいろな伴奏パターンによる弾き歌い課題曲の演習（1） 両手伴奏型の読譜の方法を学び、弾きながら歌うための演奏技術を習得する。	(1-7),(1-8),(1-14),(2-2),(2-4)
第20回	いろいろな伴奏パターンによる弾き歌い課題曲の演習（2） コードネームについて学び、伴奏をアレンジする方法を理解する。	(1-7),(1-8),(2-2),(2-5)
第21回	歌詞に着目した弾き方のための演習 ・1番と2番では歌詞の違いからメロディーの弾き方が変わってくることを理解する。 ・すべての歌詞について注意深く読み込み、歌詞に合わせた旋律の弾き方を習得する。	(1-7),(1-11),(2-1),(2-2)
第22回	総合的なピアノ演奏技術習得のための演習（3） トリルやターンの装飾記号について学び、演奏法を習得する。	(1-7),(1-11),(1-15),(2-2)
第23回	総合的なピアノ演奏技術習得のための演習（4） ペダルの扱い方について学び、効果的に演奏する方法を理解する。	(1-7),(1-8),(1-12),(1-15),(2-2),(2-3)
第24回	リズム遊びとしての動きを理解するための演習 ・リズム遊びの動きとして「ラン」（16分音符）のリズムを理解し、課題曲に取り組む。 ・旋律に16分音符が用いられた楽曲を通して動きの特徴を学び、演奏する技術を習得する。	(1-7),(1-8),(1-10),(2-2),(2-3)
第25回	歌唱に重点を置いた表情豊かな弾き歌いをするための演習（1） 曲想の捉え方、歌詞の明瞭さを意識して課題曲に取り組み、レパートリーを増やす。	(1-8),(1-10),(2-2),(2-4)
第26回	歌唱に重点を置いた表情豊かな弾き歌いをするための演習（2） 歌詞の内容を深く理解し、歌詞の世界観が伝わるように演奏することを目指す。	(1-7),(1-15),(1-16),(2-2),(2-4)
第27回	総合的なピアノ演奏技術習得のための演習（5） 基本的な音楽用語に加え、表現の幅をひろげるために添えられる付加語や接尾語について理解する。	(1-5),(1-15),(2-2)
第28回	総合的なピアノ演奏技術習得のための演習（6） 音楽用語に加え、表現の幅をひろげるために添えられる付加語や接尾語について理解し、イメージを豊かにして演奏することができる。	(1-7),(1-15),(2-2)
第29回	総合的なピアノ演奏技術習得のための演習（7） ペダルの扱い方について理解し、効果的に演奏する技術を習得する。	(1-10),(1-13),(1-15),(2-2)(2-4)
第30回	ふり返りとまとめ ・実技試験において後期に学習した成果を演奏発表するため、発表する課題曲の練習。 ・後期に学習したピアノ演奏技術の習熟度をふり返る。	(1-7),(1-8),(1-14),(1-15),(2-2),(2-3),(2-4)